

2026年5月26日

ウェザーニューズ、この夏の大雨警戒傾向を発表  
警報レベルの大雨事例は、昨年の477件より全国的に多くなる見込み  
6~7月の前線停滞、8月の湿った空気による局地的大雨に嚴重警戒

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:石橋 知博)は、2026年6~8月の警報レベルとなる大雨を予想した「2026年 大雨警戒傾向」を発表いたしました。

今シーズンはエルニーニョ現象が発生する予想ですが、太平洋高気圧の張り出しは平年並みになる見込みです。ただ、張り出しが弱まったタイミングでは、日本列島に暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定になる時期があることが予想されます。このため、警報レベルの大雨が発生する可能性が全国的に昨年を上回る見通しです。昨年の同期間における国内の大雨警報発表事例(一次細分区域)は全国で計477件(ウェザーニューズ調べ)でしたが、今年はそれをさらに上回る大雨リスクがあるとみており、線状降水帯の発生やゲリラ雷雨、台風への嚴重な警戒が必要です。

5月29日から施行される改正気象業務法に伴い、企業や自治体では気象災害も意識した迅速な安全確保や初動判断が求められます。近年では大雨による河川氾濫や土砂災害が深刻化する中、甚大な災害から人命と事業の継続性を守る重要性は一段と高まっています。当社は高精度な気象情報を活用し、初動判断を支援します。法人向け気象情報「ウェザーニューズ for business」では、拠点ごとの大雨リスク情報や、気象警報に連動して従業員の安全を確保する安否確認機能を提供しBCPの強化に貢献してまいります。

「ウェザーニューズ for business」のサービスサイトはこちら

<https://wxtech.weathernews.com/products/wfb/>

お問い合わせはこちらから

<https://wxtech.weathernews.com/contact/inquiry/>



## ◆夏の大雨見解

昨年の夏は、平年よりかなり早く太平洋高気圧の張り出しが強まり、梅雨前線の活動も弱まって、沖縄・奄美では6月上旬に、西～東日本では6月下旬にかなり早い梅雨明けとなりました。また、その後の7月も高気圧に覆われて晴れて暑い日が多くなりました。このため、降水量が平年より少ない地域が多く、かなり少ないエリアもありました。一方、8月は低気圧や前線、湿った空気の影響で北～西日本の日本海側を中心に大雨となったところもありました。

今年の夏はエルニーニョ現象の発生が予想されています。エルニーニョ現象が発生すると、通常は熱帯太平洋の海面水温の高い領域が東にシフトするため、対流活動も東側で活発になります。このため、夏の太平洋高気圧の日本への張り出しが弱くなる傾向ですが、今年の夏は、太平洋高気圧の張り出しは平年並と予想されています。このため、昨年とは異なり、6月下旬から7月前半にかけても梅雨前線の活動が活発になるおそれがあります。7月後半から8月は晴れて暑い日が多くなる予想ですが、太平洋高気圧の張り出しが弱まって、暖かく湿った空気が日本付近へ流れ込みやすくなる時期があると予想しています。

これらの予想を踏まえ、過去の大雨警報が発表された大雨事例を詳しく分析したところ、今年の大雨警報の発表基準に達するような大雨となる可能性が、全国的に昨年よりも高くなる見通しとなりました。線状降水帯が発生するおそれもあり、大雨への厳重な警戒が欠かせません。また、ゲリラ雷雨の発生や、台風の影響に警戒も必要です。

大雨が発生すると排水が追いつかなくなり道路に水があふれ出すリスクが高くなります。河川氾濫などが発生する前に最新の気象情報に基づいた早めの備えと、迷いのない迅速な初動判断が重要となります。

## ◆6～8月エリア別：昨年の大雨警報発表事例と比較する、今夏の傾向

エリア	昨年の大雨事例	今年（昨年比）	大雨警戒傾向
北日本 （北海道・東北）	99件	多い	北日本では、昨年より大雨リスクが上回ると予想されます。特に7月は梅雨前線、8月は上空の寒気や湿った空気の影響による雨の降り方に注意が必要です。河川の増水、家屋への浸水、土砂災害などに警戒が必要です。また、台風が接近するおそれもあるため、最新情報を常に確認してください。
東日本 （関東甲信・北陸・東海）	180件	多い	東日本では、昨年より大雨リスクが上回ると予想されます。特に6、7月は梅雨前線、8月は湿った空気の影響による雨の降り方に注意が必要で、河川の増水、家屋への浸水、土砂災害などに警戒が必要です。また、台風が接近するおそれもあるため、最新情報を常に確認してください。
西日本 （近畿・中国・四国・九州）	187件	多い	西日本では、昨年より大雨リスクが上回ると予想されます。特に6、7月は梅雨前線、8月は湿った空気の影響による雨の降り方に注意が必要で、河川の増水、家屋への浸水、土砂災害などに警戒が必要です。また、台風が接近するおそれもあるため、最新情報を常に確認してください。

沖縄・奄美	11 件	多い	沖縄・奄美では、昨年より大雨リスクが上回ると予想されます。特に6月は梅雨前線の影響による雨の降り方に注意が必要で、河川の増水、家屋への浸水、土砂災害などに警戒が必要です。また、台風が接近するおそれもあるため、最新情報を常に確認してください。
-------	------	----	--

#### ◆「ウェザーニュース for business」の安否確認で BCP を強化

当社は、2022 年 9 月より予報精度 No.1 のお天気アプリ「ウェザーニュース」を法人向けに拡張した「ウェザーニュース for business」を提供しています。累計 5,000 万ダウンロードの「ウェザーニュース」をそのまま業務でご利用いただけるように、アプリ上に企業や団体の専用ページやプッシュ通知を追加し、ニーズにあわせてカスタマイズした気象情報を提供しています。

「ウェザーニュース for business」は、工場やビルの施設管理、工事現場での作業判断や作業員の働き方改革、花火大会やイルミネーションなどのイベント運営など、様々な市場のニーズに対応します。スタッフ間の情報の一元化や、プッシュ通知の活用によって、見逃しの減少や対応スピードの迅速化が期待できます。

2026 年 2 月のアップデートでは安否確認機能を追加しました。従来の安否確認は地震発生後の状況把握が主流でしたが、本サービスは「気象警報」をトリガーとし、迅速な初動判断を実現します。気象警報が発表されたタイミングでは、対象エリアの従業員へ安否確認や自宅待機、早期帰宅の指示などを自動で送信し、管理者が不在の夜間や休日でも、迅速な初動判断を支援します。気象災害に対し、受動的な確認から気象予測に基づく能動的な安全確保へと BCP をアップデートすることで、従業員の命を守り事業継続をサポートします。

▼法人の方のお問い合わせはこちらから

<https://wxtech.weathernews.com/contact/inquiry/>

